■中野総合学科新校 二次投票候補（事務局案）（カテゴリー別）

	校名候補（よみ）	校名案にした理由	投票した理由
カテゴリー１	**中野総合 （なかのそうごう）**	「中野」という二文字こそ、この地域の歴史・文化・挑戦の歩みを象徴する名であると感じました。その誇りある地名を校名の中心に据え、「総合」には、多様な学びの中から生徒一人ひとりが自ら未来を切り拓いてほしいという願いを込めました。地域の歴史と誇りを受け継ぎ、多様な学びで未来を切り拓く総合学科の拠点として「長野県中野総合高等学校」を提案します。等	・シンプルで分かりやすい。 ・立志舘高校と西高校が統合され、総合高校としてふさわしいと思い「中野総合高等学校」を推薦します。 ・「中野」と「総合」とすることで、どこにある高校で、何を特色としている高校かが分かる校名であるから。 ・中野市にある総合学科の高校ということが最も端的に伝わるため。/学校の所在地（ハード）と学科名（学習内容＝ソフト）を端的に表しているから。時代の流れや流行に左右されない校名だから。 ・判り易い校名案と思います。 ・学校の所在地と、総合学科新校であることがわかりやすい。 ・中野の総合学科高校にふさわしい。 ・学校の所在地や課程（学科）がわかりやすい。「長野県〇〇高等学校」となることを踏まえ、「信州」をつけない。 ・市内にある２つの学校が合わさり、１つの学校となるため。 ・「中野」の文字が入っていて分かり易いから。
カテゴリー２	**信州中野 （しんしゅうなかの）**	「長野県信州中野高等学校」は、中野を出発点に信州全体、さらには世界へと学びを広げる新しい総合学科高校への願いを込めた校名です。「信州」を冠することで、中野市の魅力や文化、自然を大切に受け継ぐとともに、多様な人との出会いや協働を通して新たな価値を創造し、自ら未来を切り拓く生徒が育つ学校像を表しています。等	・地域に広く知られている呼称だから。 ・中野市、唯一の高校となることかから長野電鉄駅名でもあり、立地より「信州中野高等学校」を推薦します。 ・呼びやすさと校名案の提案理由に賛同したので。 ・駅名でも使われているように、中野市唯一の高校を指す名前としてふさわしい。 ・所在地が明確に伝わるから。中野地域で唯一の高校として、地名を入れたい。最寄りの駅名とも同じで親しみやすい。東京の中野区と区別し、郷土愛を象徴させたいから。 ・地域の名前で分かりやす/近くに信州中野駅があることからなじみがあると思ったから。 ・「中野」の文字が入っていて分かり易く、馴染みがあるから。 ・シンプルで良いと思います。
	信州なかの （しんしゅうなかの）	地域名が分かりやすく、「信州」のブランド力と「なかの」の親しみやすさを合わせた、地域に誇りを持てる校名だと考えたため。等	所在地が明確に伝わるから。豪雪に耐えながら、温和な人の集う地だから、「なかの」を平仮名にしてより親しみやすくしました。 ・地域の名前で分かりやす、ひらがな表記がしたしみやすい。 ・信州という言葉を入れたいと思ったから。 ・「なかの」の文字が入っていて分かり易く、馴染みがあるから。
カテゴリー３	**中野創岳 （なかのそうがく）**	「創岳」には、統合を機に新たな学校の歴史を創り、地域とともに未来を切り拓いていくという願いを込めました。「創」は、新しい価値を創造し、自ら未来を切り拓く力を、「岳」は、北信五岳をはじめとする地域の雄大な自然と、高い志を持ってたくましく成長してほしいという思いを表しています。	・作り上げながら、岳のもとで学ぶイメージがある。 ・創造の「創」と北信五岳の「岳」が入った校名であるから。 ・呼びやすさと校名案の提案理由に賛同したので。 ・強いて選ぶとすれば、ということで上げました。「創岳」は、判りにくいかもしれません。 ・この中野の地で、新しい価値を創造したり、未来にコミットしていくような広く逞しい高校生の姿が想像できたから。 ・「創」は、新校の学びのイメージ（創造、共創）に合っている。「岳」は、高みを目指すイメージがある。 ・「中野」の文字が入っていて分かり易く、北信五岳を連想させるから。

カテゴリー４	**中野志翔 （なかのししょう）**	立志館の“志”、中野西の“翔”という、それぞれの高校の理念を表すキーワードを1字ずつ取り、両校の伝統を継承しつつ生徒の成長や挑戦を連想させる、前向きな印象の校名とした。等	・立志館と中野西のシンボルがつながっている。 ・立志館の「志」中西の「翔」。 ・中野立志館高校と中野西高校が大切にしているものを表現している。 ・所在地の名称がある。立志館、西高の歴史・伝統が繋がる。
	中野翔志 （なかのしょうし）	立志館が大事にしている「志」と中西が大事にしている「翔」（イヌワシの歌が象徴する「とべ」）から一字ずつ。それぞれの文化祭の名前、志輝祭と翔舞祭の頭の一文字でもある。等	・学校の所在地がわかりやすく、両校がイメージされる。 ・中野立志館高校と中野西高校が大切にしているものを表現している。 ・両校のこれまでの歴史や伝統がイメージされている。志を高く持ち、未来に羽ばたいてほしいという願いが感じられる。
カテゴリー５	**岳南 （がくなん）**	この地域を岳南地域と呼ぶことがあり、北信五岳も美しく見える校地であることから、地域の方に愛される学校名になりそう。等	・地域イメージがある。とてもシンプルであり、地域名としての聞いたことがあるから。
カテゴリー６	**中野颯英 （なかのそうえい）**	颯の意味（清々しさ、爽やかさ、凛々しさ、風が立つ音）、英の意味（美しい花、優れている、国際的なイメージ）、北信五岳を望む田園を渡る風とバラやシャクヤクを代表とする花々が美しい中野市の風景に、未来の生徒像を重ねました。発音が柔らかく、ローマ字表記（NAKANO SOEI）がスッキリしていると思いました。	・学校の所在地がわかりやすく、親しみがあり、生徒が誇りを持てる名称。 ・爽やかで柔らかく聡明なイメージがある。立志館や中西（翔舞）を引きずらないところが良い。
カテゴリー７	**中野未来 （なかのみらい）**	これからの未来のために幅広い分野で未来を担う若い子達の学びや成長を育む学校になってほしい	・校名選考の観点をすべて満たした校名案です。やはり未来志向で、明るい校名案と思います。
	中野みらい （なかのみらい）	様々な人々が協働して生きていく未来。そんな未来に向かって中野から総合学科の生徒が飛躍する学校を目指す。ひらがなの「みらい）とした理由はインクルージョンの世の中の一人として生きることや、柔らか味がある雰囲気を出すため。	・学校の所在地と、目指すもの端的に表しているから。将来のこの地域を背負って立つ人材が育つ場であってほしいという願いをこめて。